


STEP 2 答え合わせ 5分

Track 04 をもう一度聞き、下線部を参照して答え合わせをしましょう。訳も参照してください。丸数字の箇所は [今月のルール] で解説します。

Ken Ono (Mathematician): You often hear from people who aren't ^①in math that they're just not good at math, as if you have to be born with some special talent to even begin considering pursuing, um, something related to math. And that's, like, so crazy. If you wanted to be a distance runner, right, uh, you practice, you train. If you wanna be good at anything, you practice, you train. ^②I can't think of anything where you're just born good at a skill and then you're world-class. But for some reason, in math there's this cultural belief that if you can't solve problems, you know, lickety-split, if you're not whip-smart, then it's not a field for you. And I think that that's crazy.

訳 数学の世界に身を置いていない人々からよく耳にします、自分はずっと数学ができないのだと。まるで、数学に関わる何かを追い求めようと考え始める前から、何か特別な才能を持って生まれてこなければいけないかのようです。そして、それはすごくおかしなことです。もし長距離走者になりたいければ、そう、人は練習します、トレーニングを積みます。何か得意になりたいければ、人は練習します、トレーニングを積むのです。ただ生まれたときから何かの才能に秀でていて、いきなり世界一流になれるものなど、私には何も思い付きません。ところが、どういふわけだか、数学においてはこう信じる文化があるのです、その、一瞬で問題を解けない限り、人並み外れて頭の回転が速くない限り、その分野には向いていないのだと。そして、私はこれをすごくおかしなことだと思います。

[今月のルール] [θ] の発音
[応用編]
語末の [θ] を聞き取る

この音声は、昨年秋にホワイトハウスで行われた数学に関するパネルディスカッションより、日系アメリカ人数学者のケン・オノ氏の発言から抜粋したものだ。math [mæθ] という単語が何度も出てくるが、これは「マス」ではなく「メア-θ」のように発音される。語末の [θ] は聞き取りにくいのが、よく聞くと舌尖と上の前歯との間で息の摩擦が起きていることが確認できるはずだ。①では math that の -th [θ] と th- [ð] がひと続きに読まれており、全体で「インメア-θダツ」のように聞こえる。

②の I can't think of anything の下線部は、基本編にも登場した破裂音 + [θ] の組み合わせ。[t] の音がほぼ消え、全体で「アイケア-ンθインコヴ」のように聞こえることを確認してみよう。


● EJ で聞こう!

このコーナーで耳慣らしをした後、EJ の「Mystery Speakers」に挑戦し、余裕がある方は、ディクテーションをするのもよいでしょう。毎月、1つずつ音声現象を学んでいけば、「Tea Time Talk」も、徐々に聞き取りが易くなるはずです。また、[今月のルール] がどこに現れるか、スクリプトに印を付け、自分でも発音してみましょう。

● オンライン英会話を使ってみよう!

基本編・応用編を全て学習し終えたら、「アルクオンライン英会話」(<https://eikaiwa.alc.co.jp/>)で、[今月のルール] に沿って自分でも発音できるかどうか、応用編の英文を使って練習してみましょう。